

令和2年4月23日

## 会員ならびにホームページをご覧の皆様へ

日本運動器疼痛学会 理事長

矢吹 省司

日本は今新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっている真っ只中にいます。全県に緊急事態宣言が出されました。福島県に住んでいる私は、9年前の東日本大震災・福島原発事故後に感じていた寂寥を思い出してしまいます。外来では、慢性運動器疼痛を有する患者さんから「身体を動かしていない」、「すごく痛くなっている」、「どこにも出かけていない」という言葉を聞きます。

そんな状況の今、私たち日本運動器疼痛学会は何ができるのか？ 本学会は、「多くの診療科の医師、多職種メディカルスタッフ、および多方面の基礎研究者などが加わっているユニークな学会」です。それぞれの施設で、多職種で患者さんに対して何ができるかを話し合う機会をつくり行動していきましょう。まずは、「身体を丸めてばかりではなく、時々背伸びをしてください、胸を張ってください。そして、足踏みを30秒間してください」と伝えてみるのはどうでしょうか。「身体を動かさないことがダメ」は、私たちの学会のコンセンサスだと思っています。少しでも運動するきっかけを作ることは私たちの大事な役目だと考えます。